

7/20 創作の背景を探る 砂澤ビッキ没後 30 年特別展

北 海道を代表する木彫家砂澤ビッキの没後30年を記念して、特別展が洞爺湖芸術館で、7月20日～9月1日の期間で開催されました。

今回の展覧会では、同館が所蔵する作品とともに、昨年の調査で明らかになった資料も展示し、ビッキの背景や足跡を探ることがテーマとなっています。

20日には、オープニングセレモニーと「私が見た砂澤ビッキ」というテーマで河上實さんが講演会を行いました。



芸術館関係者によって行われたテープカット

7/17 噴火災害を伝えるために 西山山麓散策路 草刈り作業実施

西 山山麓散策路の道路跡や被災遺構を見やすくするために、役場職員と住民ボランティア40人が草刈り作業を行いました。

西山山麓散策路では、有珠山噴火で被災した建物や道路が、減災教育に役立つよう保全されていますが、草木の成長で見づらくなつたことから、環境省の特別の許可を得て実施し、今年で2回目。

作業後は建物や大地の変化もよく見えるようになりました。



汗を流しながら草を刈るボランティアの皆さん

8/6～8/8 箱根町中学生親善訪問使節団来町 洞爺湖町中学生と交流を深める

姉 妹都市箱根町から「箱根町中学生親善訪問使節団」が2泊3日の日程で洞爺湖町を訪れました。来町したのは、箱根町の中学生6人と引率者2人の総勢8人。

歓迎式では使節団を代表して大高栞さん（箱根中3年）が「洞爺湖でしか体験できないことを楽しみたいです」と意気込みを語りました。

滞在中は、入江・高砂貝塚館見学やカヌー体験などで洞爺湖町中学生と交流を深めました。



縄文石器の説明を聞く箱根町の中学生

7/26・8/7 永遠の平和を誓う 令和元年度洞爺湖町戦没者追悼式

令 和元年度の戦没者追悼式が、洞爺地区と虻田地区で行われ、戦没者の冥福を祈りました。

洞爺地区での追悼式では、洞爺小公園忠魂碑前に約30人が参列。洞爺中3年佐藤裕也さんと同中2年岡本愛さんが「たくさんの犠牲のうえで、現在の平和な生活が成り立っている。このことをしっかりと次の世代に伝えていきます」と力強くメッセージを読み上げた後、献花が行われました。



力強くメッセージを読み上げる洞爺中学生

8/9 外国人観光客を受け入れるために「キャッシュレス化」についてのセミナー開催

「キャッシュレス化」についてのセミナーが洞爺湖観光情報センターで開催され、洞爺湖温泉街の飲食店経営者など約30人が参加しました。

今回のセミナーは、外国人観光客が多い洞爺湖温泉街の人に「キャッシュレス化」の知見を深めてもらう目的で実施。

LINE Pay北海道株式会社の下田恭平さんを講師として、「世界的なキャッシュレス化の動きと日本の現状」などについて講演を行いました。



講師の話真剣に聞く参加者

8/8 おおきいシャボン玉を作ろう 母と子の館の日 夏祭り

母と子の館の日 夏祭り（町教育委員会、絵本の玉手箱主催）が母と子の館で行われました。午前の部は幼児、午後の部は小学生を対象とし、約20人が参加。

当日は、駐車場でチョーク遊びをしたり、水風船で遊んだりしました。特に人気があったジャンボシャボン玉は、どれだけ大きく膨らませるか夢中になって挑戦し、最初は苦戦していましたが、最後はみんな大きく膨らましていました。



ジャンボシャボン玉を膨らます子どもたち

8/17 地域の健康作りを促進 健康づくり講演会

健康づくり講演会（健康づくり推進委員会主催）が、健康福祉センターさわやかで行われ、約30人が参加しました。

「介護予防の音楽療法こうたって、わらって健康づくり」と題し、日本音楽療法学会認定音楽療法士の四方明子さんが講演。

当日は、音楽療法の効果などを説明した後、音楽に合わせて体を動かしたり、歌ったりするなどして、音楽療法を楽しく体験しました。



音楽に合わせて体を動かす参加者たち

8/17 夏休み特別ワークショップ 鉄たたけます。

洞爺湖芸術館夏休み特別ワークショップ「鉄たたけます」が洞爺湖芸術館で開かれ、町内外から約20人が参加しました。

当日は、洞爺湖町出身である金工家・彫刻家の藤沢レオさんを講師として、鉄ができた過程や発展した経緯などを講演。

講演後、中庭で真っ赤に熱した鉄をたたき、それを好きな形にねじり、仕上げに紙やすりで磨いて、オリジナルキーホルダーを制作しました。



一生懸命鉄をたたき親子